

●前半 「うめきた地区の概況」、「先行開発区域」

1 うめきた地区の概況

うめきた地区周辺は、JR・阪急・阪神・地下鉄3線、9駅が乗り入れ、1日約240万人の乗降客の西日本最大の交通ターミナルであり、利便性が高く、都市機能の集積地。

2 うめきたのまちづくりの経緯

2002年度都市再生緊急整備地域に指定、2004年度「大阪駅北地区まちづくり基本計画」の策定、2009年度1期工事着工（竣工2012年度）、2011年度特定都市再生緊急整備地域に指定。2013年度先行開発地域にグランフロント大阪開業。2018年度2期開発事業者の決定。

3 大阪駅北地区まちづくり基本計画

シンボル軸（南北）・水と緑を大きく取り入れる・ゆとりと風格を持たせる・シンボル性の高い空間
賑わい軸（東西）・建築物の低層部と歩道との一体性・華やかで賑わいのある空間。

4 まちを支える活動組織 グランフロント大阪

（一社）ナレッジキャピタル：ナレッジキャピタルの発展に寄与する外部連携など公益的な取組を推進
（株）KMO：入居するテナント等の運営管理及びナレッジキャピタルの施設管理及び事業開発
（一社）グランフロント大阪TMO：一体的な管理・運営を担うタウンマネジメント組織

5 うめきた先行開発区域概要

立地ポテンシャルを活かし、多様な人々の交流で新たな価値を創造。主な施設、ナレッジサロン、The Lab、フューチャーライフショールーム、ナレッジシアターなど。

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の新たな取組としてバーチャルナレッジキャピタルを開設。

●後半 「大阪版 BID 制度」、「2期のまちづくり」

6 都市再生特別措置法による道路占用許可の特例

限定された区域の中において、道路管理者から特例施設の占用が認められるもの。道路上の広告板やオープンカフェなど。

7 グランフロント大阪における大阪版 BID 制度導入の経緯

2015年大阪版BID制度創設。市が地権者から分担金を徴収し、都市再生推進法人の指定を受けたTMOへ補助金として交付。公権力によって安定的に徴収する財源により継続的で質の高い維持管理が可能となった。TMOは、分担金を財源に歩道の清掃や放置自転車対策等の維持管理を実施。

その後、国でも、地域再生法による日本版BID制度を創設。

8 うめきた2期まちづくりの方針経緯

2015年に制定。まちづくりの方針として「みどりとイノベーションの融合拠点」をめざす。

- ・ここにしかない世界の人々を惹きつける比類なき「みどり」
- ・新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の拠点

9 うめきた2期の中核機能

新産業創出テーマは「ライフデザイン・イノベーション」。IoT やビッグデータ等を活用し、創薬や医療機器開発だけでなく、健康で豊かに生きるための新製品・サービスを創造することをめざしている。

10 新産業創出機能の実現に向けて～先行的取組み～

2017年度より、まちびらきに向けて「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」を設立し、先行的にイベントなど開催。

11 うめきた2期区域の基盤整備事業

JR 東海道線支線地下化事業（連続立体交差事業）及び新駅設置事業

12 うめきた2期区域の開発事業者の提案・提案の概要

北街区、南街区と都市公園を配置。

13 スマートシティ・スーパーシティについて

スマートシティ：うめきた2期地区と夢洲地区で国交省モデル事業に提案

スーパーシティ：今後内閣府がエリア公募予定

14 今後のスケジュール（予定）

2023年春に新駅開業予定、2024年に一部先行まちびらき予定、2027年春に基盤整備の全体完成予定。

<質疑応答（抜粋）>

- Q) 新型コロナウイルスの影響で2期の計画とオペレーションが大きく変わることはあるのか？
- A) 現時点での整備内容が大きく変わる話は出ていない。
- Q) 2期で都市公園の真ん中を道路が配置されているが、車道が必要な理由は何か？
- A) 都市計画において道路の計画があり、その後うめきたのみどりの計画が決定した。交通上、防災上等からも一定の道路整備は必要と考える。
- Q) うめきた2期は一等地で、商業用途としても十分に将来につながるはずだが、公園を広く配置すると事業性とのバランスが難しいが、バランスはどう評価して考えられているのか？
- A) 建物を建てるだけでなく、駅前の一等地に大きな都市公園を配置し、「ここにしかない景観」を設けることによって、世界各国からも注目を集め、多くの人材や技術等が集積することになり、まちの価値も高まると考える。
- Q) 公園は維持管理等コストが莫大だと思うが対策は？今後の評価や検証はどうするのか？
- A) 公園の維持管理については事業者が実施することを想定。効果の検証や、どう指標を定めていくかはこれからの課題。
- Q) BIDの問題点として日本では道路の維持管理等しか使えないということだが、うめきた2期は、柔軟な形で運用できないものか？
- A) 日本版BID制度では、イベント実施も対象にしている。個人的な見解になるが、世の流れをみながら、制度を改善していくことが必要になる場合もあると考えている。
- Q) グランフロントでは、なかなかタクシーがつかまらない。さらに、障害を持っている人であるならなおのこと不便。2期はそういうのに対応しているのか？また公園はそういう方々への対応も備えられているか？
- A) バリアフリーは重要な課題と認識。今後、開発事業者とも話し合いながら、考えていく必要があると思う。
- 以上。